

平成29年度 まちづくり懇談会（タウンミーティング）議事録

会議名	コミュニティサロン「パティオ」とのまちづくり懇談会 (タウンミーティング形式による)
開催日時	平成29年5月17日(水) 午前11時30分～午後1時30分
開催場所	コミュニティサロン「パティオ」内
公開・非公開の別	公開 ・ 非公開 ・ 一部公開
非公開の理由 (非公開の場合のみ)	個人を特定する情報については非公開とする ※「まちづくり懇談会実施要領」 10 懇談内容の公表 町民に対して積極的な情報提供を行う観点から、懇談会における懇談内容は、団体名や個人名を特定しない形式で、町広報紙や町ホームページで公開する。
議題	(1) サロン運営について ア サロンの事業について、イ サロン運営の資金について (2) 高齢者対策(福祉、健康関係)について
出席者	●町 : 飯島町長、健康福祉課荻田主幹、政策推進課秘書室柴生田主査 ●団体: コミュニティサロン「パティオ」12名
配布資料	次第
審議等の内容又は概要	
1 開会	
2 自己紹介	
3 タウンミーティング	
(1) サロンの運営について(サロンの事業について、サロン運営の資金について)	
(2) 高齢者対策(福祉、健康関連)について	
質疑応答・意見提案 ※フリートーク形式で実施	
町長: パティオの活動には本当に感心する。理想とする「サロン」が誕生したと思う。地域の中に住民が集える場所があることは、介護予防や健康増進の面においてもとても有益だと思う。町も現在、健康についての取組みに力を入れている。現在、川島インター周辺に「ふれあい拠点」を作ろうと計画しており、その中に健康に関する設備も備える予定。町には皮膚科、耳鼻咽喉科がないので、クリニックが開院できるよう、例えば時限で土地を無償貸与するなど案を考えている。また、その拠点に高速バスを通らせるよう考えている。駐車場を備え、数日間駐車して置けるようにし、成田空港にもバスで行けるようにしたいと思っている。	
団体: とても良い案だと思う。もっともっと町をPRしたい。遠山記念館はとても良	

い施設だと感じる。来町者がもっと増えるよう、遠山記念館の前に土産屋でも作り、観光バスで来場できるようにしたらよいのではないか。

町長：これまでは道路が狭くて観光バスが入れなかったが、先に道路を拡張し、観光バスが入れるようになった。

団体：川島町は、いちごやいちじく、お蔵米などの特産品がとても良いと思う。遠方へ出かける時、相手方へのお土産には町の名前が入った物を差し上げるようにしている。相手方にはとても喜ばれる。

団体：先日、バス停で2人の学生に出会った。広島県から来ており、建築の勉強をしているとのことで、遠山記念館を訪れたとのこと。バスの出発まで時間があつたので、けやきカフェへ連れて行ってあげた。遠山記念館もけやきカフェも大変喜ばれた。

団体：川島の風景はとても良いと思う。もっとPRできるよう、日帰りバスツアーの拠点を作ったらどうだろうか。

団体：ベイシアが、年2回日帰りバスツアーを主催しているようだが、とても好評と聞いている。参加者がツアーに参加している間、ベイシアの駐車場に車を止めておけるのが良いよう。

団体：道の駅と日帰りバスツアー拠点の合体も良いと思う。何か商業施設があれば人が訪れてくれると思う。

団体：農産物直売所も割りと観光バスが止まっている。トイレ休憩などで使われるようだが、お店があれば何かしら買い物をしてくれるので、良いと思う。

団体：町内に飲食店が少ないと思う。よそからお客さんが来ても、案内できる場所があまりない。

団体：お店の方から言わせれば、地元の人が余り使ってくれないので、利益が出ず経営を続けていくのが難しいよう。もっと地元のお店を使ったほうが良い。

団体：パティオで行っている内容は元より、地域の状況が共有できるよう、定期的にパティオ通信を作成しており、八幡地内には全戸配布している。

団体：最近、他市町村からパティオを訪れる人が増えている。しかし、その人たちが万が一けが等した時、補償対応が確立していず、不安を感じている。自治会保険に加入しているので、地域の人がけが等した時には補償できるのだが、町外の人には適応できないとのこと。何か対応してもらえないか。

町長：地域外の人にも補償対応等できるよう担当課に指示した。具体的には担当と調整をしていくようにする。

団体：最近、「英語であそぼう」と題して、小さい子どもの英会話を行っている。2歳くらいの子どもが来ている。その参加者は町外の人が多い。

町長：今年の4月から「かわみんハウス」を開設した。もしけが等補償の対応や、会場の手狭さ等が課題であれば、かわみんハウスも使ってほしい。また、英語教育はとても重要だと感じており、今年度から英検受検料を年1回補助するようになった。これからは英語が世界の標準語になっていくと思う。ぜひ川島の子どもたちには英語を習得してもらい、世界で活躍してもらいたいと思っている。

団体：パティオでは、子どもの宿題を面倒見る取組みも始めた。教師の経験者などが

ボランティア対応してくれている。毎週金曜日に実施している。

団体：パティオは世代間の交流ができる場としたい。関連して、最近では地域での子どもの登下校時の見守りが課題となっている。1人で下校している子どもをよく見かける。少々心配。

団体：見守りパトロールに携わっているが、パトロールに従事するなかで、自分自身が周囲から「変な人が子どもにつきまとっている」と思われないか心配。

町長：地域での見守り活動には、それに従事する人の証として住民に一目で分かるよう、ベストを配布している。

団体：町から、もう新しいのは作らないと聞いている。これまで「交通指導員」だった人は制服をもらっているが、新しく指導員となる人には制服が配られない。制服だったら見た目にも「指導員」と分かりやすいので、残念。

町長：制服の貸与とまではいかないが、ボランティアに従事してくれたり、地域活動に取り組むのに必要がある場合は、何か目印になるような物の配布(ベスト等)をするようにしているので、不便があるときは一報してほしい。

団体：地域でボランティア活動をしていると、最近の子どもは礼儀などを教えられていない印象を受ける。なので、例えばあいさつや、脱いだ靴をそろえるなど、他人の子どもにでも教えるよう心がけている。

団体：子どもの言葉遣いの悪さも気になる。敬語(丁寧語)が使えず、大人にもタメ口をきくようなことが多々ある。

団体：最近の母親は、何でもネットで情報を得ている。どういう施設が良いか、スタッフの対応がどうかなど。ネット上で話題のところや人気のところなど、町の職員は是非現地へ行って直接見てほしい。

団体：かわみんハウスは評判が良いと聞いている。

団体：パティオの活動では、とりあえず何でもやってみることとしている。パソコン教室も急きょ実施することとしたがとても人気。教室といっても正式なものではなく、パソコンを使える人が知らない人にマンツーマンで教えてあげるようなやり方。

団体：パソコン教室の参加者に「(パソコンを)立ち上げて」って言ったら、その人が立ち上がった(笑)。でも参加者はみんな、できるようになると嬉しいようで、私はその様子を見て嬉しいと感じられる。

町長：パティオは、公民館などの公共施設でなく、空き家で行うというアットホームな雰囲気がとても良かったと感じる。

団体：地域に「先生」がたくさんいたのも良かった。声をかけてみたら、みんな思ったより協力者がたくさんいたことに驚いた。その協力者自身も、役に立って誉められたというのが良かったのかもしれない。自分自身もとてもやりがいを感じている。

団体：伊草に「オレンジカフェ」がオープンしたと聞いた。町が随分関わっているようだが、様子はどうなのだろうか。

町長：今は立ち上げの段階なので職員が関わっているが、パティオ同様、基本的には地域運営と考えている。そのような場所が町内にもっと増やしたいとも思っ

いる。

団体：地域の高齢化を感じる。特に医療機関の乏しさについては今後の課題と思う。

団体：透析患者が増えている印象。地域で、透析が開始となった高齢者がおり、十分に歩けない人だったが、透析の医療機関が行っている送迎バスには自力で歩ける人しか乗れないことから、努力して十分に歩けるようになった。パティオにも歩いて通ってきている。

団体：かわみんタクシーは良い制度だと思うが、町外へ行けないのが不便。自分の通院先はそれぞれ決まっており、もう少し対応できるようにしてほしい。

団体：今後自分も年を取ったら、いずれ免許は返納すると思う。そうなったとき、町外の通院先までバスや電車を乗り継いで行くのは難しいので、交通対策をもっと充実させてほしい。

団体：そもそも、健康維持の努力をしないで安易に通院するのが良くない。町の人はもっともっと自分で健康に気を遣うべきだと思う。

町長：町の国保税は高いと言われる。しかし、それだけ医療費がかかっているということ。町でも健康の教室などいろいろ取り組んでおり、以前より医療費の伸びが抑えられてきている。その結果を踏まえ、昨年度は1年度に限り、努力の対価としての還元という意味合いで国保税を8,000円程度下げた。しかし医療費はそれ相応にかかっており、残念ながら今年度は元に戻した。国保は今後県単位で運営することとなるが、やはり健康維持の努力は必要。早めに医療機関にかかって薬を飲むのは医療費高騰の原因ではなく、ずっと放っておいて重症化することが医療費高騰の原因。もっと健康増進に力を入れていきたい。

団体：町は、人口減少に対してどう考えているのか。

町長：大きな問題だが、なかなか難しい問題。住民を増やす努力は当然ながら行っているが、すぐに効果が表れるものでもない。とにかく今は、教育、人付き合い、自然の豊かさをPRするなどほか、充実させていきたい。

団体：結婚サポーターを担っているが、自分の担当している人になかなか上手くマッチングできない事例がある。他のサポーターもそのように感じているようなので、可能であればサポーター同士で情報共有をしたいがよいか。

町長：個人情報の問題がある。相手方が了承してくれればよいとは思いますが…。

(町)：相手方からどのように承諾を得るかなどの取扱いもあるので、持ち帰り、担当課から直接お示しする。

団体：パティオの運営について、今現在は町が建物を借り上げ家賃を払い、火災保険を担っているが、突然補助がなくなるようなことはないか心配。家賃や保険代などは、とても地域では担えない。

町長：少なくとも自分が町長でいる限りは補助すると思っている。

団体：今後パティオを運営していくなかで、万が一訴訟等が起こって提訴されたとき、町は支援等してくれるか。

町長：正直、即答はできない。今後内容を整理し、それぞれの責任等所在を明確にするよう一考する。

